

\*当館には駐車場はございません。また、ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。あらかじめご了承ください。

# 音脈

ONMYAKU

## 公演情報 2013. 10-12

特集 出演者インタビュー

小曾根 真  
Music Weeks in TOKYO 2013  
小曾根 真&バキート・デリベラ  
"Jazz meets Classic"  
with 東京都交響楽団

堤 剛  
Music Weeks in TOKYO 2013  
プラチナ・シリーズ第3・4回  
堤 剛&ルドルフ・プッフビンダー  
ベートーヴェン チェロ・ソナタ  
ツィクルス

沼尻竜典・小菅 優  
《響の森》vol.34  
「ニューイヤークンサート2014」

平成25年8月31日発行(年4回発行) 発行・編集 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館  
〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45  
03-3828-2111(代) <http://www.tbunka.jp/>

子ザン 印刷・製本 光村印刷株式会社

東京文化会館モバイルサイト



Vol.52 AUTUMN

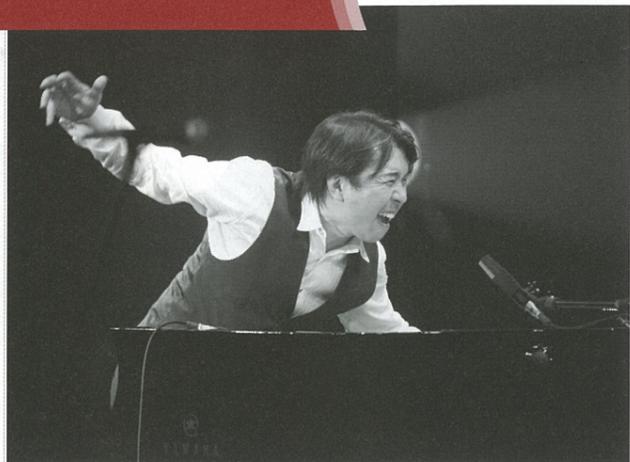


## インタビュー①

### Music Weeks in TOKYO 2013

#### 小曾根 真(ピアノ)

聞き手：片桐卓也



©Yow Kobayashi

Music weeks in TOKYOは多彩なプログラムを用意して2013年も開催される。その中で大きな話題を呼ぶこと間違いなしの公演が、ジャズ・ピアニストの小曾根真とクラリネット界の巨匠パキート・デリベラが共演するコンサート「Jazz meets Classic with 東京都交響楽団」(10月26日東京文化会館、27日パルテノン多摩)である。プログラムは第1部がモーツァルトのクラリネット協奏曲、ラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」、そして第2部が小曾根×パキートによるジャズ・セッション。小曾根は11月2日に特別企画のワークショップも行なうことになっている。

#### 巨匠パキート・デリベラとの出会い

パキート・デリベラは日本でも何度も公演を行っているが、ラテン音楽、ジャズ、クラシックとジャンルを超えて活躍してきたクラリネットの巨匠である。小曾根にパキート・デリベラとの出会いを聞いた。

「1986年9月のニューヨークのジャズクラブ、ブルーノートで、僕のトリオとパキートのクインテットが、いわゆるダブル・ビルという形で出演していたんです。僕はラテン音楽を子供の頃から聴いて育ってきたので、パキートの音楽にすごく関心があって、自分のバンドもそっちなけで毎晩彼のグループの演奏を聴いていました。そのうちに、じゃあ、ステージに上がって来いよ、一緒に演奏しようということになり、その公演期間の最後のほうでは、もうふたつのグループがほとんど混ざってしまうぐらい仲良しになったのです。それが最初のきっかけでしたね」

その後パキート・デリベラのアルバム『セレブレーション』(1987年)に参加した小曾根は、パキートのグループの日本ツアーでも共演を重ねた。

#### モーツァルト・ミーツ・ジャズ

「その後ちょっと時間が空いたのですが、2006年にポーランドの音楽祭で再会することになります。それは『ショパン・アンド・ヒズ・ヨーロッパ』というフェスティバルだったので

が、僕はモーツァルトのピアノ協奏曲を弾くことになり、誰かもうひとり、と思った時にパキートの顔が浮かんだ。そして彼はやって来てシンフォニア・ヴァルソヴィアとモーツァルトのクラリネット協奏曲を共演したのです。その時にふたりで、もっと何かが出来そうだねと話合っ、その後日本で実現したのが『Mozart meets Jazz』でした。そこでは、僕がピアノを弾きながらクラリネット協奏曲を共演したのですが、今回はさらに進化したバージョンをお届けします」

モーツァルトの名作クラリネット協奏曲を独奏クラリネットだけでなくピアノも加わって表現する。

「特に第2楽章を聴いて頂くと、どうしてこの編曲が可能になったのかが良く分かって頂けると思います。今回はジョシュア・タンが指揮を担当してくれるので、僕もピアノの演奏に集中しますから、前回よりもっとアグレッシブに参加したいと思っています」

#### ラフマニノフの名作にも挑戦

そしてラフマニノフの最後の大作協奏曲と言って良い「パガニーニの主題による狂詩曲」も楽しみだ。

「これは2012年に、NHK交響楽団のツアーの時に、尾高忠明さんの指揮で演奏していた作品です。その時に、僕はジャズ・ピアニストですからちょっとずつアドリブなどを加えて演奏していました。ラフマニノフの音符はとても多いので、その合間にアドリブを入れるのもなかなか大変だったのですが、そして、ある時に尾高さんが『そこまで弾けるなら、あえてアドリブ無しで、一度演奏してみたら。それを聴きたいな』と仰ってくれた。それなら、その期待に応えようと思って、今回はラフマニノフの世界にストレートに挑戦しようと思っています。実際のところ、僕がクラシック音楽に挑戦を始めてからほぼ10年が経ったので、今の自分の演奏を表現出来れば良いなど。幸いなことに、指揮者のジョシュア・タンは何度も共演して、その音楽の方向性もよく分かったので、安心して任せられますし、東京都交響楽団という、いま東京で最もエキサイティングなオーケストラが共演して下さるということで、とてもワクワクしています」

小曾根にとり、ラフマニノフの音楽の魅力はどのあたりに感じるのだろうか？

「まず魅力的なメロディ、そして『ラプソディ』ではその見事な変奏の世界ですね。ピアニストにとっては、とってもしゃべりな作品ばかりで、とってもしゃべりの多い、腕が疲れてしまうような部分の後で、さらに神経を使うような繊細な音を要求されたりします。そこがチャレンジャー精神をくすぐるところかな。とってもしゃべりな作品であることは間違いありません」

それに加え、その演奏会の第2部には小曾根真とパキート・デリベラのふたりによるジャズ・セッションも披露される。

「これはまだどんなものになるのか、まったく分かりませんが、おそらく会場の皆さんに楽しんで頂けるような、熱い演奏になることは確実ですので、ぜひ楽しみにして下さい」

#### 特別ワークショップで学ぶコミュニケーション術

その公演の後には「特別ワークショップ」が開催される(11月2日東京文化会館小ホール)。これは主に演奏活動を現在しているピアニストの方々に役立つような、実践的なワークショップとなる予定だ。

「最近よく考えるのは、音楽の原点とはなんだろう？ ということなんです。音楽とはやはり『音を楽しむ』ものであり、そこにはやっぱり演奏者が演奏をいかに楽しむかという要素が必要なのではないか。というのも、いま国立音楽大学でジャズを教えているのですが、みんな一種の型に押し込められている気がします。『こう弾きなさい』、あるいは『こう弾かなければダメ』というような枠の中でしか演奏が出来ない学生も多い。でも、音楽はそうじゃないでしょ？ 音楽は音楽であって、〈音学〉ではないんですよ。クラシックの場合も同じで、まず楽譜があり、弾かなければならない課題曲のようなものがあり、そこに縛りつけられている学生も多いように感じています。いかに自分の感性を信じるか、それが音楽に限らず、あらゆるアートには必要だと思うんですね。その感性を信じるところが最初で、難しい話ではないんですよ。まず自分の個性を知り、それを信じるのが大事、ということをお願いなんです」

さあ、そこでどんなことが起きるのか、なのだが。

「いろいろなセミナーやワークショップをする時に、こんな例えを出します。日本語を覚えた時に、まず文法から覚えたほうがいい。そうじゃなくて、もっと直感的なところから言葉を覚えて行ったはず。もし英語の文法だけしか知らないで英語圏に行ったら、ほとんど会話が出来ないと思います。まず自分の言いたいことを伝えること、それには現地でのトライ&エラーが大事になるのだと思う。あまりにもそのトライ&エラーを怖がって、間違えないように話そうとするから難しくなるんですよ。コミュニケーションする前に自分で壁を作ってしまう」

言葉の例は音楽にも通じるが、さらには他人とのコミュニケ

ーションにも通じてくる。

「僕個人の例で言うと、25~6歳の時にカナダのエドモントンという街にコンサートに行き、コンサート前にお寿司を食べに行き、とても美味しかったのでコンサート後も食べに行きました。美味しい、美味しいって食べてたら、そこの板前さんが『お客さんがそうやって美味しいって言って、目をきらきらさせながら食べてくれるのが一番嬉しい』と。で、僕もピアノを弾いていてお客さんに喜んでもらうのが一番楽しいと応えたら、じゃあ、いったいお寿司を美味しく食べてもらうには何が大事かという話に展開し、店が閉店時間になっても話し込んでしまったことがありました。あ、人とコミュニケーションするってこういうことなんだと。お寿司もコミュニケーションなら、音楽もコミュニケーションなんだということを学んだ訳です。お寿司を口に入れた時に、あ、美味しいという言葉が出る、そこがお寿司屋さんの勝負なのであって、五感に響く美味しさはどうやったら作り出せるのか。その話を聞いた時に、僕は音楽も一緒だと思ったんです」

今回のワークショップでは、もちろんピアノを使って、そのコミュニケーションの方法を様々に探って行こうというトライがなされるはず。

「もちろんピアニスト、音楽関係者の方が参加してくれるのも嬉しいですが、普通の方がいらしてくれるのも期待しています。以前、アメリカでこうしたセミナーをした時に、たまたま株のディーラーの方がその中に居て、コミュニケーションの話をしたところ、非常に自分の仕事に役立った、お客様とのコミュニケーションの取り方が分かるようになったと言われたこともあります。そういう意味で、単にアドリブの仕方教えます、というワークショップではなくて、もっと幅広い意味で、音楽を自由に捉えて、それを自分の演奏に活かし、聴き手の方々とコミュニケーションを取って行くか、そんなことが出来たら嬉しいと思っています」

### Music Weeks in TOKYO 2013 メイン公演

#### 小曾根 真&パキート・デリベラ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

10月26日(土) 15:00開演(14:20開場) 東京文化会館 大ホール

10月27日(日) 15:00開演(14:30開場) パルテノン多摩 大ホール

出演▶ピアノ：小曾根 真 スペシャル・ゲスト：パキート・デリベラ(クラリネット、サクソフォン)

指揮：ジョシュア・タン\* 管弦楽：東京都交響楽団\* \*第一部のみ出演

曲目▶《第一部》モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

※オリジナル版にピアノも加わる特別版で演奏します。

ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 op.43

《第二部》ジャズ・セッション 小曾根 真×パキート・デリベラ



小曾根真 ©篠山紀信 パキート・デリベラ ©Great The Kabukicho ジョシュア・タン

料金 10/26 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 学生席1,000円  
10/27 S席5,000円 A席3,000円 学生席1,000円

チケット取扱 TS ハルテノン多摩(10/27のみ) 交通 e+ ロケッツ

#### メイン公演特別企画 小曾根 真ワークショップ「自分で見つける音楽」

小ホール

11月2日(土) 15:00開演(14:30開場)

料金 一般1,500円 25歳以下1,000円(全席自由)

チケット取扱 TS e+ ロケッツ

出演▶小曾根 真

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

提携 公益財団法人多摩市文化振興財団(10/27のみ) 協力 一般社団法人日本クラリネット協会(10/26,27のみ)

ています」

ベートーヴェンのチェロ・ソナタと変奏曲の全曲演奏は、チェロ奏者にとって並大抵のことではない。

「まず、ここの素晴らしい小ホールで弾けるのは、演奏家冥利に尽きます。音響も理想的です。

ベートーヴェンの5つのチェロ・ソナタは、第1番と第2番が前期、第3番が中期、第4番と第5番が後期というように、ベートーヴェンの全生涯をカバーしています。私のチェリストとしてのチャレンジは、それぞれの違ったピリオドの特徴をいかに弾き分けられるかです。音質や音色が変わっていくのを、いかにうまく表現できるか、ピアノと作り上げていくことができるか。特に後期の2曲は音の数が減りますが、1音1音が真珠の玉のような美しさです。プッフビンダーさんのように美しい音を持つピアニストと共演できるのは、チェリストとして本当に嬉しいことなのです。ベートーヴェンのチェロ・ソナタは、ピアノとのコラボレーションです。プッフビンダーさんは、もちろんウィーンの香りを感じさせてくださるでしょうが、私はいわゆる“ウィーン風”というよりは、王道を歩んでいる、正統的な演奏をされるピアニストだと思っています。ベートーヴェンの曲が自分の血となり肉となった、骨太の音楽を構築されています。私にとっては、学ぶ点が多いでしょうし、一緒に構築するのが楽しみです。

変奏曲は、ベートーヴェンの若い頃の作品で、彼はウィーンでピアニストとして活躍していました。当時流行っていた、ヘンデルやモーツァルトの音楽でこういうことも出来るんだよ、という可能性が示されています。ベートーヴェンは変奏曲の天才だったと思います。弾いていて、楽しいですね」

インディアナ大学や桐朋学園大学の教授を歴任するなど後進の指導にも熱心に取り組む堤が、11月3日に東京文化会館小ホールでマスタークラスを開く。

「限られた時間ですが、私としては、3つの部門でやりたいと思っています。まず、若くてこれから伸びていく“子供さん”、次に、プロとしてやってられる方、あるいは、これからプロとしてやっていく学生、そして、室内楽のレッスンです。将来のある方のお手伝いをするのは大事なことだと思っています。私は齋藤秀雄先生、シュタルケル先生という、厳しい先生のもとで、たくさんを学ばせていただきました。自分が教える立場になったとき、先生から学んだことを反芻するような形になりますが、次の世代につなげていくということが大事だと思います。シュタルケル先生は、『レッスンは、フィフティ・フィフティだ』とおっしゃっていました。レッスンが効果的に成り立つためには、生徒の努力が50パーセント、先生が新しいものを作り出すのが50パーセント。お互いが持ち寄って作り出すという意味です。レッスンは、ただ教えるだけではなく、二人の出会いがあって、ある意味、新しいものが作られる一種の創造活動でなければならない、というのが、私の基本的な姿勢です」

そのほか、東京文化会館で、堤は東京音楽コンクールの顧問

を務め、審査も行っている。

「東京音楽コンクールは、入賞者のアフター・ケアがいい。モーニングコンサートなどの東京文化会館の演奏会だけでなく、いろいろな演奏の機会が与えられます。本選まで残ると、大ホールでトップ・レベルの指揮者&オーケストラと共演するのも素晴らしい。オーケストラと共演するのは、このときが初めてという人も多いのです。弦楽器は、チェロだけのコンクールとは違って、すべてを一緒に比べます。違う楽器をどう判断するかは、私どもにとってのチャレンジとなります。

コンクールは人との競争ではなく、自分との競争です。ホロヴィッツは『自分が他人より上手だと思える人はまだ本物ではなく、今日の自分が昨日の自分より上手だと思えた時が真の成長なのだ』と言っています。

コンクールでは、私見ですが、これからどのように伸びていくのかというポテンシャルに着眼しています。これからの音楽界に貢献できるのだろうか、入賞することによってどういう成長をするのだろうか、という将来性を見ます」

演奏家としても堤は、もう半世紀近く東京文化会館のステージに立ってきた。初登場は1967年の日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会だった(プロコフィエフの交響的協奏曲を演奏)。

「東京文化会館ができたときは、びっくりしました。大ホールは、2000席を超えますが、チェロ1つで立ち向かって、孤独な感じはしないのです。何十年も、ホーム・カミングな、戻ってきたような温かさを感じます。このホールに見守られて演奏できているというような。小ホールは、持っている雰囲気個性的で、演奏家を試しているように感じます。「こうできる

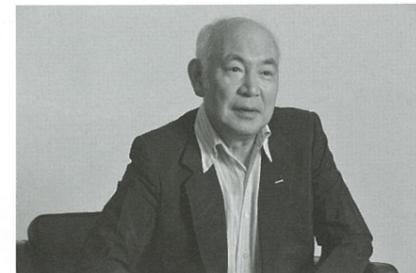
んじゃないか」と思わせてくれるのです」

堤は、演奏家であると同時に、サントリーホールの館長でもある。サントリーホール館長の目には東京文化会館はどう映るのだろうか。

「東京文化会館は、コンサートだけでなく、オペラ、バレエなど、バラエティに富んでいます。私にはサントリーホールへの責任がありますが、お互いサポートし合いながら、手を携えて、共存していければいいと思っています。私は、東京文化会館に育てていただいたという気持ちが強く、この素晴らしいホールのために何かしたいと思っています。私自身、東京文化会館で演奏もしましたが、ここで一流アーティストやオーケストラの素晴らしい演奏を聴いたことが、私の芸術家としての成長に欠かせませんでした」

今回のプッフビンダーとの共演も、サントリーホールとの協力のなかで実現したといえよう。

「大ピアニストと一緒に、しかもベートーヴェンが演奏できる。私にとってはひとつの夢みたいなことです。それが実現されようとしています。お客様も、ある意味で、私と一緒に夢を見ていただければと思います」



◎青柳 聡

◎青柳 聡

日本を代表するチェロ奏者の一人である堤剛が、ウィーンの誇る名ピアニスト、ルドルフ・プッフビンダーと初共演し、ベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲を演奏する。ちょうどこの秋、プッフビンダーは来日中のウィーン・フィルを相手にベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲の弾き振りをサントリーホールで予定である。

「プッフビンダーさんとは、個人的にお目にかかったこともありますし、演奏も聴いたことがあります。ただし、演奏をご一緒させていただくのは、今回が初めてです。

もともと私の師匠であるシュタルケル先生(注：今年4月に亡くなったヤーノシュ・シュタルケル)がプッフビンダーさんを知っていらして、よく演奏をご一緒されたり、レコーディングされたりしていました(注：ベートーヴェンやブラームスのチェロ・ソナタ全集の録音もある)。シュタルケル先生がプッフビンダーさんに私のことをおっしゃってくださって、プッフビンダーさんが私に興味を持ってくださっていたことで、今回の共演が実現しました。

プッフビンダーさんは、ウィーン古典派の演奏でこの人の右に出る人はいません。音楽を知り尽くして、ソリストとしても素晴らしい。アンサンブルの感覚も絶妙で、作られる音楽は、あたかも昨日作曲されたかと錯覚するくらい、生き生きとし

## Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ 第3・4回 堤 剛&ルドルフ・プッフビンダー ベートーヴェン チェロ・ソナタ ツィクルス

小ホール

第3回 11月 7日(木) 19:00開演(18:30開場)

第4回 11月10日(日) 14:00開演(13:30開場)

出演▶チェロ：堤 剛

ピアノ：ルドルフ・プッフビンダー

曲目▶第3回 ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第1番 へ長調 op.5-1

チェロ・ソナタ第4番 へ長調 op.102-1

モーツァルトの「魔笛」の「娘か女か」の主題による12の変奏曲 へ長調 op.66

チェロ・ソナタ第3番 イ長調 op.69

第4回 ベートーヴェン：モーツァルトの「魔笛」の「恋を知る男たちは」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46

チェロ・ソナタ第2番 短調 op.5-2

ヘンデルの「ユーダス=マカベウス」の主題による12の変奏曲 長調 WoO.45

チェロ・ソナタ第5番 二長調 op.102-2

料金 S席4,800円 A席3,800円 B席2,000円(B席売切)

チケット取扱 TS e+

## Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム(コラボレーション・プログラム) 堤 剛マスタークラス(チェロコース)

小ホール

11月3日(土) 10:30開講(10:00開場)

料金 聴講料1,000円(全席自由)

チケット取扱 TS e+

講師▶堤 剛

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

インタビュー③

《響の森》vol.34「ニューイヤーコンサート2014」

沼尻竜典(指揮) 小菅 優(ピアノ)

聞き手：山田治生



©青柳 聡

来年のニューイヤーコンサートに先立って、10月10日の東京フィルの定期演奏会では、ヘンツェのピアノ協奏曲第1番をご一緒します。

沼尻 ヘンツェのピアノ協奏曲第1番は、日本で演奏して、そのあとリユーベックでも演奏することにしました。あちらではベートーヴェンの「英雄」と組み合わせて、ヘンツェの業績を讃え、追悼しようという意図があります。小菅さんは私が指名しました。彼女はドイツ音楽に対する理解がずば抜けて深いのですから。今の時代は日本初演の難曲でも、ただやって紹介するだけではダメで、より良い演奏が求められています。

ニューイヤーコンサートでの共演は、チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番である。

小菅 チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番は、好きな曲なのですが、弾くのは久しぶりなんです。6~7年前はよく弾いていました。第1楽章が盛り沢山で、いいカデンツァもあります。しばらく弾いてなかった曲を弾くと、全然違うところが見えてくるので、前とはアプローチが変わると思います。チャイコフスキーの第1番は、意外と室内乐的なところがあり、管楽器との対話とか、すごく楽しみです。

最近、私はロシアによく行っています。雄大で、誇りを持ち、親しくなるまではオープンにならない時間があり、私はモスクワやサンクトペテルブルクだけでなく、シベリアでもコンサートをするのですが、外はものすごく寒くても、人々は温かい、そういうロシアの民族性を、チャイコフスキーの演奏でも出したいと思います。ただし、チャイコフスキーには残酷さも感じます。第3楽章とか、民族的なだけではなく、現実の怖さや悪い予感を感じます。ただ派手できれいな曲とは勘違いされたくないですね。

沼尻 ピアノ協奏曲第1番は、指揮者にとっては、内容が充実しすぎていて、一度演奏するとヘロヘロになってしまいます。よくこんな書きちゃったなというくらい、凄い曲ですよ。第2楽章の真ん中なんか、ありえないくらい現代音楽みたいで。ほとんど無調性なんです。指揮者もついていくのがたいへんです。名曲だから気軽にやるという音楽ではないんです。来年は、正月からこの曲をやるとなると、クリスマスも新年もないですね(笑)。

ここ数年、僕はショスタコーヴィチの交響曲をまとめてやっていて、声楽入りのものと第15番以外はすべて演奏したのですが、現代に近いショスタコーヴィチの方からチャイコフスキーを見ると、逆に流れがよく分かったりします。たとえば、交響

2014年の「ニューイヤーコンサート」は、ドイツのリユーベック歌劇場の音楽総監督に就任したばかりの沼尻竜典と、早くからドイツで活躍するピアニストの小菅優によるオール・チャイコフスキー・プログラム。二人の共演で強烈に印象に残っているのは、東日本大震災直後、ほとんどのコンサートがキャンセルされるなかで2011年3月26日にすみだトリフォニーホールで開かれた群馬交響楽団東京公演。

沼尻 実はこの群馬交響楽団の演奏会が、今のところ二人の最初で最後の共演なんです(笑)。

小菅 曲はベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番でしたが、マエストロのことを、ナチュラルな音楽を作られる方だと思いました。

沼尻 僕はあんまり変わったことはしないほうですから。ベートーヴェンの第4番で、合わせるのが難しい曲なんです。特に第1楽章のテンポ設定や、第3楽章でピアノに細かい音符のあるところ。でも、ぎくしゃくすることなく、何も問題なく演奏できました。あのときは、震災のあとで、日本はどうなるのか、クラシック音楽をやっている場合か、など考え、重苦しい雰囲気でした。

小菅 自分も暗くなっていました。その分、気持ちのこもった演奏ができました。



曲第6番「悲愴」の第3楽章のある部分を、ショスタコーヴィチだと思って演奏すると面白い。ショスタコーヴィチはチャイコフスキーよりも濃

©青柳 聡

くエッセンスが出ていますから。もちろん、チャイコフスキーをショスタコーヴィチだと思ってやるというアプローチは、今の音楽家にしかできませんが。

最近の名曲コンサートをあまりやってなくて、チャイコフスキーの交響曲第5番を振るのも久しぶりです。名曲はたまにやると自分の変化がわかって面白い。前より楽になっていたり、逆にわからなくなっていたり、自分の状態を図ることができず。

チャイコフスキーには、独特の視線の鋭さがあります。グサッとくるような。それから、気が狂ったようなところもありますよね。第4楽章なんて、最後の4分の6拍子のコードに入る前で、拍手が来たりしますが(笑)、もうそこまでお腹一杯だからですよ。ここで終わりでもいいくらいなのに、さらにトドメを刺すような音楽が続きます。演奏者はそれに負けないようにしないとイケません。

ショスタコーヴィチには、聴いている方の気持ちを考えず何度も繰り返したり、極端な弱音を多用して緊張を強いる残酷性があります。そういう怖さを共通項にして、チャイコフスキーもショスタコーヴィチも根でつながっているように思います。

小菅 先ほど、チャイコフスキーの残酷さについて話をしましたが、ピアノ協奏曲第1番には、最終的に愛があります。大自然を感じます。年の始めに、新しい気持ちを持って、希望をもって、聴いてくださったらいいと思います。

沼尻 重量級の名曲でガツンと行くニューイヤー。一見楽しい音楽の裏にある、いろいろな感情の綾を感じ取っていただければと思います。

この二人なら、お屠蘇気分もどっかに行ってしまう、そんなドラマティックなチャイコフスキーが聴けるだろう。そんな二人に、東京文化会館の思い出をきいた。

小菅 東京文化会館では、聴きにきた思い出が強いんですね。私は、小さい頃、母と祖母とともに、サークルの会員になって、毎月、4階席に通ってました。ついこの間もフィリップ・ヘレヴェッヘさんとシャンゼリゼ管弦楽団のモーツァルトの「レクイエム」をここで聴きました。小ホールは、リサイタルや室内楽で演奏しましたが、ちょうどいい残響と雰囲気があり、大好きです。大ホールは、弱く弾いても音が上まで届く。無理に音を出す必要がなく、オーケストラが聴きやすいですね。管楽器とも違和感がありません。

沼尻 僕が学生の頃は、東京文化会館で演奏することが皆の目標でした。指揮者であれば、大ホールの第1楽屋から颯爽と出て来る自分を夢見ていた...そういうホールです。

観たもので一番印象に残っているのは、81年にカルロス・クライバーが指揮したスカラ座の「ボエーム」ですね。徹夜で並んでチケットを買い、5階席で観ました。あれは凄かった。安い席はステージに近く、指揮者の真上で真横なんです。この5階席は、僕のふるさとですね(笑)。また、大ホールの舞台の反響板には隙間があり、指揮者を見るのにちょうどいいんです。そこからいろんな指揮者を観察させてもらいました(笑)。

東京文化会館は容積があるから、オペラを指揮する時には、バランスに気を使いますね。でもホールがうまく出来ていて、バランスさえきちんとしてれば隅々まで音が届くのです。一度、ここでアンネ=ゾフィー・ムターと演奏したことがあるのですが、彼女は大きな音では弾かないのに、ちゃんと音が届いているんですね。すぐにホールの特徴を掴んで活かすところは、さすがムターでした。

東京文化会館への希望を述べると、自主制作のオペラをやってほしいですね。ここが年に2~3本自主制作のオペラをやったら、日本は変わります。パステューユ・オペラに対するシャンゼリゼ劇場、ウィーン国立歌劇場に対するアン・デア・ウィーン劇場のような位置づけで、新国立劇場と共存して行けるでしょう。たまにはゲリラ的な演目で、ヨーロッパからもファンが観に来るようなオペラのプロデュースを是非。都響もこの場所にいるのですから。東京は1200万人の都市なので、オペラ劇場が3つくらいあってもいいと思います。



©青柳 聡

《響の森》vol.34「ニューイヤーコンサート2014」 大ホール

平成26年1月3日(金) 15:00開演(14:20開場)

出演 ▶ 指揮：沼尻竜典  
ピアノ：小菅 優  
管弦楽：東京都交響楽団

曲目 ▶ チャイコフスキー：  
歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ボロネーズ」  
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23  
交響曲第5番 ホ短調 op.64



沼尻竜典  
©Ryudoichi Aratani



小菅 優  
©Marco Borggreve

料金 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円 ※各種割引あり  
チケット発売日 9月6日(金)【東京文化会館友の会・都響会員先行発売：8月31日(土)】

チケット取扱 TS 郵便 交通 e+ 中野

舞台芸術創造事業 ~Percussion×Dance×Art~  
ニルヴァーナ —泥涸— 土取利行 meets サルドノ W. クスモ

小ホール

世界的パーカッショニスト土取利行とインドネシアの革新的舞踊家クスモが出会う。  
今秋、日本とインドネシアのスーパーアーティストの初共演が実現!!  
「涅槃」を意味する「ニルヴァーナ」「泥涸」をテーマに、先鋭的な舞台が生まれます。

9月7日(土)

18:00開演 (17:30開場)

出演▶土取利行(音楽家、パーカッショニスト)  
サルドノ W. クスモ(振付、舞踊家)



土取利行 サルドノ W. クスモ

料金 S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円 ※各種割引あり

チケット取扱 TS e+

舞台芸術創造事業 「ギリシャ悲劇 王女メディアの物語」  
人形劇俳優たいらじょう × 古楽アンサンブル

小ホール

人形劇と古楽アンサンブルによるコラボレーション。ギリシャ三大悲劇詩人、エウリピデスの代表作を現代の感覚にあった演出で取り上げ、人間の情念に迫る音楽劇をお届けします。

平成26年3月1日(土)

15:00開演 (14:30開場)

原作▶エウリピデス  
脚本・演出・美術・人形操演▶たいらじょう  
演奏▶  
音楽監修/リコーダー:セバステイアン・マルク  
アンサンブル・レナシオン  
リコーダー:宇治川朝政

ヴァイオリン:宮崎容子、廣海史帆  
ヴィオラ:秋葉美佳  
チェロ:懸田貴嗣  
チェンバロ:福岡 彩  
曲名▶独創的な劇のイメージに基づき、バロック時代の様々な作曲家の作品から選曲



たいらじょう S.マルク

料金 S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円 ※各種割引あり  
チケット発売日 10月5日(土)/友の会先行発売:9月21日(土)  
特別協賛 レンゴー株式会社

チケット取扱 TS e+ ヴォイス・ファクトリー

東京文化会館オペラBOX ビゼー作曲「カルメン」(ハイライト版・日本語上演)

小ホール

初めて観る方でも楽しめるオペラ。名作中の名作「カルメン」を「奇跡的な音響」と称される小ホールでお楽しみください。

11月24日(日)

14:00開演 (13:30開場)

演出▶恵川智美  
音楽統括・指揮▶佐藤 宏  
出演▶カルメン:向野由美子

ドン・ホセ:村上敏明 \*第3回東京音楽コンクール声楽部門第3位  
エスカミーリョ:高橋洋介 \*第9回声楽部門第2位及び聴衆賞  
ミカエラ:上田純子 \*第8回声楽部門第1位  
スニガ:党 主税  
フラスキータ:清水理恵 \*第7回声楽部門第1位及び聴衆賞  
メルセデス:八木寿子 \*第9回声楽部門第1位  
レメンダド:宮里直樹 \*第10回声楽部門第2位<最高位>及び聴衆賞  
ダンカイロ:湯澤直幹  
ナビゲーター:朝岡 聡  
合唱:音楽大学連携合唱団  
(上野学園大学・同短期大学部 他)  
児童合唱:Coro Amigo(ワークショップ「オペラをつくらう」参加者)

スタッフ▶美術:荒田 良  
衣裳:増田恵美  
照明:望月太介  
振付:伊藤範子  
舞台監督:田中義浩  
児童合唱指導:田中美佳  
演出助手:清水龍之介



恵川智美 佐藤 宏 向野由美子 村上敏明 高橋洋介 上田純子 党 主税  
清水理恵 八木寿子 宮里直樹 湯澤直幹 朝岡 聡 押部朋子

料金 指定3,000円 ※各種割引あり

主催 上野中央通り商店会/東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) 予定販売枚数終了 チケット取扱 TS e+

第11回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

大ホール

平成26年1月19日(日)

14:00開演 (13:20開場)

出演▶指揮:梅田俊明  
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団  
司会▶朝岡 聡



梅田俊明 朝岡 聡

料金 指定2,000円 ※各種割引あり  
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/読売新聞社/花王株式会社/東京都  
協賛 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社/株式会社コンサートサービス/サントリーホールディングス株式会社/東京ガス株式会社  
東京地下鉄株式会社/三井住友海上火災保険株式会社/森平舞台機構株式会社  
協力 新日本フィルハーモニー交響楽団/東京交響楽団/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/東京都交響楽団/東京フィルハーモニー交響楽団  
日本フィルハーモニー交響楽団/読売日本交響楽団/東京オーケストラ事業協同組合

チケット取扱 TS e+

Music Weeks in Tokyo 2013 プラチナ・シリーズ

小ホール

「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひと時を。国内外の一流アーティストによる珠玉のコンサートをお楽しみください。

第1回 ウィッシュフル・シンギング  
奇跡の女声アカペラ・アンサンブル

10月18日(金)

19:00開演 (18:30開場)

出演▶アカペラ・アンサンブル:ウィッシュフル・シンギング  
ソプラノ:アン=クリスティーン・ヴェメカン、マリア・ゲッツェ  
メゾ・ソプラノ:マルヨライン・フェアブルク  
アルト:アネミク・ファンデルフェン、マルヨライン・ストツ  
曲目▶スカラッチェ:私の心よ、弱ってはならぬ  
松下 耕:ルクス・エテルナ  
日本古謡(松下 耕 編曲):さくら  
レノン=マッカートニー:イエスタデイ  
リチャード・レイ:瞳のささやき ほか  
(企画監修:松下 耕)



ウィッシュフル・シンギング ©Patrick Post

第5回 河野克典&小林沙羅  
ミューラーと松本隆 2つの「冬の旅」

平成26年1月31日(金)

18:30開演 (18:00開場)

出演▶ソプラノ:小林沙羅(日本語版)  
バリトン:河野克典(原語版)  
ピアノ:小原 孝(日本語版)  
三ツ石潤司(原語版)  
曲目▶シューベルト:「冬の旅」D.911(松本隆訳 日本語版)  
シューベルト:「冬の旅」D.911(原語[ドイツ語]版)



河野克典



小林沙羅 ©岩切 等

第6回 武満 徹ソングブック・コンサート

平成26年3月8日(土)

19:00開演 (18:30開場)

出演▶ショーロクラブ with ヴォーカリスト and 谷川俊太郎  
歌:アン・サリー、沢 知恵、おおかた静流、おおはた雄一、松平 敬、  
松田美緒、tamamix  
演奏:ショーロクラブ 秋岡 欧(バンドリン)、笹子重治(ギター)、  
沢田穠治(コントラバス)  
詩朗読:谷川俊太郎  
曲目▶翼/めぐり逢い/うたうだけ/明日ハ晴レカナ、曇リカナ/  
(予定) 鳥へ/恋のかくれんぼ/小さな空/見えないこども/  
ワルツ~他人の顔/死んだ男の残したものは/三月のうた/  
燃える秋/MI-YO-TA



谷川俊太郎 ©菊池一郎

第2回 ブルーノ=レオナルド・ゲルバー  
ベートーヴェンへのオマージュ

10月19日(土)

14:00開演 (13:30開場)

出演▶ピアノ:ブルーノ=レオナルド・ゲルバー  
曲目▶ベートーヴェン:  
ピアノ・ソナタ第15番 ニ長調 op.28「田園」  
ピアノ・ソナタ第3番 ハ長調 op.2-3  
ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」  
ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 op.57「熱情」



ブルーノ=レオナルド・ゲルバー

第3-4回 堤 剛&ルドルフ・ブッフビンダー  
ベートーヴェン チェロ・ソナタ ツィクルスI&II

※詳しくは特集②(4~5ページ)をご覧ください。

料金 S席4,800円 A席3,800円 B席2,000円(【第1~4回】B席売切)

チケット発売日 第1~4回:発売中/第5-6回:9月14日(土)発売

主催 東京都/東京文化会館/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱 TS e+

モーニングコンサート

小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクール入賞者による朝の一時間コンサート。

各日 11:00~12:00(10:30開場)

Vol.73 9月10日(火)

出演▶ピアノ:桑原志織 \*第10回ピアノ部門第2位  
 作曲▶ショパン:ピアノ・ソナタ第3番 ロ短調 op.58  
 ラフマニノフ:ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 op.36 (1931年版) ほか

Vol.74 10月10日(木)

出演▶バリトン:高橋洋介 \*第9回声楽部門第2位及び聴衆賞  
 ピアノ:渡辺知子  
 作曲▶ヴェルディ:『ドン・カルロ』より“私に最後の日が来しました”  
 ビゼー:『カルメン』より“闘牛士の歌” ほか

Vol.75 11月1日(金)

出演▶チェロ:上野通明 \*第10回弦楽部門第2位  
 ピアノ:安宅 薫  
 作曲▶黛 敏郎:文楽  
 プラムス:チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 op.38 ほか

Vol.76 12月4日(水)

出演▶ホルン:氏家 亮 \*第10回金管部門第3位及び聴衆賞  
 ピアノ:室伏琴音  
 作曲▶ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ  
 ビルス:ソナタ形式による3つの小品より 間奏曲 ほか

料金 全席自由 500円 チケット発売日 Vol.73~76:発売中/Vol.77~79:11月1日(金)発売  
 協賛 上野中央通り商店会 チケット取扱 TS e+ ロソン

Vol.77 2014年1月22日(水)

出演▶メゾソプラノ:富岡明子 \*第1回声楽部門第3位  
 ピアノ:東 由輝子  
 作曲▶モーツァルト:『フィガロの結婚』より  
 “恋とはどんなものかしら” ほか

Vol.78 2014年2月13日(木)

出演▶ヴァイオリン:小川響子 \*第10回弦楽部門第1位及び聴衆賞  
 ピアノ:山中惇史  
 作曲▶フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ほか

Vol.79 2014年3月11日(火)

出演▶クラリネット:極木亜裕美 \*第7回木管部門第1位  
 ピアノ:松山玲奈  
 作曲▶ガーシュウィン:ラブソディ・イン・ブルー ほか



桑原志織 高橋洋介 上野通明 氏家 亮 富岡明子 小川響子 極木亜裕美

創遊・楽らいぶ —音楽家と落語家のコラボレーション—

小ホール

Vol.25 9月18日(水) 11:00~12:00(10:30開場)

出演▶落語:三遊亭右紋  
 演奏:デュオ・ケーナルパ  
 (ケーナ:八木倫明、アルパと歌:池山由香)  
 第1部▶ミニコンサート  
 第2部▶落語と音楽のコラボレーション  
 「正しいラーメンの食べ方」



三遊亭右紋 デュオ・ケーナルパ

Vol.26 12月13日(金) 11:00~12:00(10:30開場)

出演▶落語:桂 歌春  
 ピアノ:HIROSHI  
 第1部▶ミニコンサート  
 第2部▶落語と音楽のコラボレーション

料金 全席自由 500円 チケット発売日 Vol.25:発売中/Vol.26:9月18日(金)発売  
 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/公益社団法人落語芸術協会  
 共催 日本音楽家ユニオン/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]  
 チケット取扱い TS e+

ティータムコンサート

大ホール  
ホワイエ

昼下がりのひととき、大ホールホワイエで行う東京都交響楽団のメンバーによる無料コンサートをお楽しみください。

9月26日(木) オーボエ四重奏 13:00~13:40(12:30開場)

出演▶オーボエ:鷹栖美恵子  
 ヴァイオリン:谷口哲朗  
 ヴィオラ:村田恵子  
 チェロ:松岡陽平  
 作曲▶モーツァルト:オーボエ四重奏曲  
 プリテン:幻想四重奏曲

10月24日(木)

未定

12月10日(火)

未定



料金 入場無料  
 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/公益財団法人東京都交響楽団

Music Weeks in TOKYO 2013 まちなかコンサート

1 芸術の秋、音楽さんぽ

上野公園及び近隣にある様々な文化施設と、武蔵小金井にある江戸東京たても園で無料コンサート「まちなかコンサート〜芸術の秋、音楽さんぽ〜」を開催します。  
 東京音楽コンクール入賞者を中心としたアーティスト達の若さ溢れる演奏を、コンサートホールとは一味違った趣のある空間でお楽しみください。

日時・会場▶9月28日(土) 11:00~12:20~/13:50~/15:10~ 江戸東京たても園 子宝湯 11:00~/13:30~ 東京国立博物館 表慶館エントランスホール	10月13日(日) 13:00~/15:00~ 国立国会図書館 国際子ども図書館 ホール3階
9月29日(日) 11:00~/12:20~/13:50~/15:10~ 江戸東京たても園 子宝湯	13:30~/15:00~ 国立科学博物館 日本館中央ホール
10月5日(土) 10:30~/11:30~ 東京文化会館 キャンピニー(雨天中止) 13:00~/15:00~ 旧岩崎邸庭園 洋館内	14:00~/15:00~ 東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ
10月6日(日) 10:30~/11:30~ 東京文化会館 キャンピニー(雨天中止) 13:00~/14:30~ 恩賜上野動物園 動物園ステージ (雨天時:動物園ホール)	10月14日(月・祝) 13:00~/14:00~ 旧吉田屋酒店(屋外:雨天中止) 14:00~/15:00~ 東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ
10月12日(土) 13:00~/15:00~ 旧岩崎邸庭園 洋館内	出演▶東京音楽コンクール入賞者等を中心とする新進演奏家によるソロ、アンサンブル

料金 入場無料(施設への入館料・入園料が別途必要な場合があります)  
 主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
 共催 公益財団法人東京都公園協会(旧岩崎邸庭園)  
 国立国会図書館国際子ども図書館

2 まちなかスペシャルvol.2 ~Navigatorコバケンのクラシック入門~

小ホール

10月20日(日) 14:00開演(13:30開場)

東京文化会館音楽監督、炎のマエストロ=コバケン(小林研一郎)がナビゲーターとなり、クラシックの世界へ導きます。  
 東京音楽コンクール入賞者を中心とした新進気鋭のアーティスト達が名曲の数を披露します。

出演▶ナビゲーター:小林研一郎  
 ヴァイオリン:依田真直 \*第4回弦楽部門第2位、塩田 脩  
 ヴィオラ:瀧本麻衣子 \*第10回弦楽部門第3位  
 チェロ:藤井 泉  
 コントラバス:高橋洋太  
 トランペット:多田将太郎 \*第8回金管部門第1位及び聴衆賞、川村 大  
 ホルン:氏家 亮 \*第10回金管部門第3位及び聴衆賞  
 トロンボーン:藤原功次郎 \*第6回金管部門第1位及び聴衆賞  
 テューバ:柳生和太  
 テノール:村上敏明 \*第3回声楽部門第3位  
 ピアノ:富永愛子 \*第6回ピアノ部門第1位、土屋麻美  
 曲目▶ヴァイヴァルディ:『四季』より“秋”第1楽章  
 シューベルト:ピアノ五重奏曲「ます」より 第4・5楽章  
 アンダーソン:トランペット吹きの休日  
 エルガー:行進曲「威風堂々」第1番  
 ララ:グラナダ  
 クルティス:帰れソレントへ  
 プッチーニ:「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ” ほか



料金 全席自由1,000円 [予定販売枚数終了]  
 主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
 チケット取扱い TS e+ ロソン

チケットはこちら

TS 東京文化会館チケットサービス	03-5685-0650	*各種割引・東京文化会館友の会のチケット取扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。
都響ガイド	03-3822-0727	
チケットぴあ	0570-02-9999	■お問合せ 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表) http://www.t-bunka.jp/ *都合により曲目等が変更になる場合があります。*未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。
e+ イープラス	http://eplus.jp/t-bunka/	
ロソン多摩	0570-000-407	
バルテノン多摩	042-376-8181	
ヴォイス・ファクトリー	03-5388-9990	
シビックチケット	03-5803-1111	

特集 出演者インタビュー

東京文化会館主催公演の案内

木之下晃のレンズは語る

公演情報 10-12月

音楽資料室より

都響ニュース

会館からのお知らせ

Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム：コラボレーション・プログラム

プラチナ・シリーズに出演するアーティストによるワークショップやマスタークラスを開催します。

**1 ヴィッシュフル・シンギング ワークショップ**  
**10月16日(水)** 18:30開講(18:30開場)  
 会場▶東京都江戸東京博物館 1階ホール

**2 堤剛マスタークラス(チェロコース)**  
**11月3日(日)** 10:30開講(10:30開場)  
 ※詳しくは特集②(4~5ページ)をご覧ください。

料金 聴講料1,000円(全席自由)

共催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱

Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム：国際連携企画

海外で最先端の教育普及活動を行っている劇場と連携して実施するエデュケーション・プログラム。初年度となる今回はエデュケーション・プログラムが豊富な劇場としてヨーロッパで注目を集めているポルトガルのカーザ・ダ・ムジカ Casa da Músicaと連携して、同劇場で実施されている最先端のワークショップを実践しながら、ワークショップ・リーダーを育成し、日本の土壌にふさわしいワークショップ作品を創り上げていきます。今年度は、事業の趣旨に賛同した文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)の協力を得て「国際連携企画」を実施いたします。

ジョルジュ・ブレンドラス(カーザ・ダ・ムジカ エデュケーション・プログラム・コーディネーター)からのメッセージ

カーザ・ダ・ムジカは国内外の音楽シーンの発展に貢献することをねらいとした、ポルトガルの文化施設です。私たちのエデュケーション・サービスは数多くの人々のために、非常に幅広いアクティビティを提供しています。私たちがこれまで培ってきた経験を東京文化会館と分かち合う機会を頂き、ワクワクしています。



ジョルジュ・ブレンドラス

プログラム1 公開講座

カーザ・ダ・ムジカで実践されているワークショップやその取り組みを紹介しながら、教育普及プログラムとその重要性について説く講座です。

**12月6日(金)** 18:30開講

会場▶東京文化会館会議室

講師▶ジョルジュ・ブレンドラス

定員▶80名

申込期間▶10月1日(火)~11月15日(金)消印有効

聴講料▶無料(事前申込制)

プログラム2 ワークショップ・リーダー育成プログラム

**12月6日(金)~9日(月) 及び 平成26年2月6日(木)~9日(日)**

※12月及び2月の両コースにご参加いただけます。

※12月10日(火)~2月5日の期間中に、ワークショップ創作作業を数日予定しています。

会場▶東京文化会館、文京シビックセンター、アカデミー音羽、東京芸術劇場

講師▶ジョルジュ・ブレンドラス

パウル・ネート、ジョルジュ・ケイジョ(カーザ・ダ・ムジカ アーティスト)

内容▶●カーザ・ダ・ムジカワークショップ・リーダーによるデモンストレーション

●グループ毎のワークショップ創作

●選ばれたワークショップ作品の一般公開(平成26年2月)

●最優秀と認められた受講生1名をカーザ・ダ・ムジカに研修生として派遣(平成26年3月予定)。渡航費及び宿泊費は東京文化会館が負担。

募集人数▶15~20名程度 募集期間▶9月15日(日)~10月31日(木)消印有効 受講料▶10,000円

プログラム3 ワークショップ~子供からファミリーまで~

ワークショップ① **ボディ・パーカッション**  
(カーザ・ダ・ムジカ オリジナル作品)

みんなが生まれながら持っている音の力を発見しよう! 特別な能力は何も必要じゃない。手を叩いたり、飛び跳ねたり、ビートボックスをしたり、頭のでっぺんからつま先までが面白い打楽器になる!

平成26年**2月8日(土)** 10:30開始

会場▶東京文化会館 小ホール 対象▶6歳以上~大人 定員▶50名程度

ワークショップ② **リズムカル・キッチン**  
(カーザ・ダ・ムジカ オリジナル作品)

お皿、ポット、グラス、色々な食器で音とリズムの料理を作ろう! いつも使っているキッチン用具がこれまでとは違うものに見えるはず!

平成26年**2月8日(土)** 15:30開始

会場▶文京シビックセンター

対象▶小学校1~3年生

定員▶30名程度



ワークショップ③ **コオロギの大冒険**  
(カーザ・ダ・ムジカ オリジナル作品)

2匹の元気なコオロギと一緒に大冒険にいこう! 山や谷、そしてピクニックで発見する自然の音、変わった音、どんな音でも楽しい音楽に大変身。

平成26年**2月9日(日)** 11:00開始

会場▶東京文化会館 小ホール

対象▶生後6ヶ月~18ヶ月

定員▶15名程度

※乳児1名につき保護者2名まで参加可



ワークショップ④ **東京文化会館オリジナル・ワークショップ**  
(a,b,c)

今回の企画の中で生み出される東京文化会館発のオリジナル・ワークショップ作品。内容詳細は東京文化会館ホームページにて1月に発表予定です。

平成26年**2月8日(土)~9日(日)**

会場▶東京文化会館、文京シビックセンター

プログラム3 参加料500円(11月8日(金)発売) ※各ワークショップ、約1時間を予定しています。 ※途中入場はできません。 チケット取扱 (ワークショップ④cのみ) (ワークショップ②、④aのみ)

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団) 共催 文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)  
 協力 上野学園大学 後援 ポルトガル大使館、台東区教育委員会

**東京文化発信プロジェクトとは**  
 東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。www.bh-project.jp

木之下晃の語る  
 レンズは語る

写真・文 木之下晃

サー・コリン・デイヴィスが、今年4月14日に85歳で逝去した。少々遅くなったけれど、巨匠の東京文化会館での思い出を残しておきたい。

巨匠が初来日したのは79年9月で、コヴェント・ガーデン・ロイヤル・オペラハウスの引越し公演だった。総勢約300名で、歌手117名、オーケストラ95名という陣容だった。演目は『ピーター・グライムス』、『トスカ』、『魔笛』で、音楽監督である巨匠が全ピットに入った。

この時に上演された『ピーター・グライムス』は、今なお語り継がれている名舞台であった。演出はイギリスのイライジャ・モシンスキーで、ステージは海岸を想わず砂利敷きと粗末な小屋をイメージさせる板張りだけの荒涼とした光景で、幕は上がったままのオープンスペース。そこで展開された寂寥とした疎外感が漂う人間ドラマは、伝統のシェイクスピア劇を見る思いがした。それを支える巨匠の緊迫した音楽は、その後これを凌駕するものに会っていない。

『魔笛』が上演された9月21日に、巨匠の末のお嬢さんが誕生。それを祝ってカーテンコールで、パパゲーノ役のトーマス・アレンが子供たちと共に、ウサギの縫いぐるみをプレゼントしたシーンも懐かしく記憶に残っている。

巨匠の東京文化会館でのオーケストラ公演は、84年と88年の2度、バイエルン放送交響楽団の指揮台に立ったのを撮影している。巨匠はこのオーケストラの首席指揮者として10年間活躍。丁度、還暦前後の最も脂が乗った時で、情熱を秘めつつ、優美な音楽づくりは絶品だった。巨匠は私が知る限り、指揮者の中で最も穏やかで気品あふれる人柄。彼の周囲はいつも人を和ませる空気に充ち、巨匠の演奏を聴いたあと、「音楽とは、人間性そのもの」だと、納得させられていた。家庭では、イラン人のシャムシイ夫人と大恋愛して結婚。3人のお子さんがい

気品漂うイギリス紳士  
 ~サー・コリン・デイヴィス~



コリン・デイヴィス(バイエルン放送交響楽団) 1984.5.22 東京文化会館 ©Akira KINOSHITA

る。今、指揮者として活躍しているジョセフ・ヴォルフは彼の子息で、親の七光りを嫌って、名前を変えている。04年、巨匠に初来日した時のポートレイトを手渡すと、「ジョセフとそっくり」と顔をほころばせ父親の顔になっていた。巨匠の趣味の一つ。仕事が暇な折、田舎の別荘へ行って、料理をしながらセーターを編むことだと、楽しそうにパイプをくゆらせていた。

舎の別荘へ行って、料理をしながらセーターを編むことだと、楽しそうにパイプをくゆらせていた。

お詫びと訂正  
 前号(Vol.51)の「木之下晃の語る」において、写真のキャプションに誤りがございました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

(誤)1951.11.6 東京文化会館 → (正)1976.11.6 東京文化会館

3日(水) 19:00 日本舞踊とオーケストラ 新たなる伝統へ向けてー

5日(土) 18:30 「東京発・伝統WA感動」音の息吹き

7日(月) 19:00 都民劇場音楽サークル第611回定期公演

12日(土) 15:00 東京バレエ団「ジゼル」

14日(月・祝) 15:00 東京バレエ団「ジゼル」

15日(火) 13:30 18:30 ブラハ国立歌劇場「魔笛」

18日(金) 18:30 19日(土) 14:00 20日(日) 14:00 Kバレエカンパニー「白鳥の湖」

23日(水) 19:00 東京都交響楽団 第759回定期演奏会

24日(木) 14:30 東京文化会館バックステージツアー

26日(土) 15:00 Music Weeks in TOKYO 2013

26日(土) 15:00 小曾根真&バキート・デリベラ

26日(土) 15:00 小曾根真 & バキート・デリベラ

29日(火) 19:00 O.F.C. 合唱舞踊劇「カルミナ・ブラーナ」

29日(火) 19:00 O.F.C. 合唱舞踊劇「カルミナ・ブラーナ」

1日(火) 19:00 廻由美子ピアノリサイタル

2日(水) 19:00 奈良場恒美ピアノリサイタル

3日(木) 19:00 熊本マリ ピアノリサイタル

5日(土) 17:30 サウンド・ライブ・トーキョー

6日(日) 15:00 料金 自由2,000(当日2,500) 学生1,500\*

7日(月) 19:00 萩原貴子フルトリサイタル

8日(火) 19:00 ティエラ ピアノデュオのタペvol.3

9日(水) 19:00 佐藤卓史 ベートーヴェン4大ピアノソナタを弾く

10日(木) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.74

10日(木) 19:00 ライナー・キュッヒル ヴァイオリンリサイタル

11日(金) 19:00 第27回 岸本カバシリサイタル

12日(土) 19:00 東京音楽コンクール入賞者リサイタル

12日(土) 19:00 西尾舞衣子ソプラノリサイタル

13日(日) 14:00 三戸素子ヴァイオリンリサイタル

14日(月・祝) 17:30 里井宏次&ザ・タロー・シンガーズ 第15回東京定期演奏会

14日(月・祝) 17:30 里井宏次(指揮) ザ・タロー・シンガーズ

15日(火) 18:30 日本合唱協会創立50周年記念 第188回定期演奏会

16日(水) 19:00 東京ハルモニア室内オーケストラ 第47回定期演奏会

17日(木) 19:00 木星音楽団 第4回グローバル・コンサート

18日(金) 19:00 Music Weeks in TOKYO 2013

19日(土) 14:00 Music Weeks in TOKYO 2013

20日(日) 14:00 Music Weeks in TOKYO 2013

23日(水) 19:00 天平ピアノコンサート

24日(木) 18:45 日本モーツァルト協会第552回例会

25日(金) 19:00 花房晴美 室内楽シリーズ

26日(土) 18:00 ムスカシはおもしろい!!

26日(土) 18:00 大羽洋子ピアノリサイタル

27日(日) 11:00 親子で聴こう、名曲コンサート

27日(日) 14:00 ピアノのために歩んだ音楽日記、そしてこれからへの一歩へ

28日(月) 19:00 窪田健志 打楽器リサイタルvol.2

28日(月) 19:00 窪田健志 打楽器リサイタルvol.2

29日(火) 19:00 音楽の喜び/ヒンデミット没後50周年記念演奏会

30日(水) 19:00 柳川守ピアノリサイタル2013

31日(木) 19:00 インジフ・バズデラ&志村泉 デュオリサイタル

特集 出演者インタビュー 東京文化会館主催公演のご案内 木之下晃のレンズは語る 公演情報(10月12日) 音楽資料室より 都響ニュース 会館からのお知らせ

1日(金) 11:30 ジャパン・シネマ・オーケストラ前日祭 ランチタイム・シネマ・コンサート&トーク

2日(土) 14:00 3日(日・祝) 14:00 ジャパン・シネマ・オーケストラ

4日(月・休) 15:00 都民劇場音楽サークル第612回定期公演 パリ管弦楽団

14日(木) 19:00 15日(金) 19:00 16日(土) 15:00 17日(日) 15:00 シルヴィ・ギエム・オン・ステージ2013

18日(月) 19:00 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

19日(火) 19:00 東京都交響楽団 第760回定期演奏会

20日(水) 19:00 都民劇場音楽サークル第613回定期公演 パーミンガム市交響楽団

29日(金) 18:30 トリノ王立歌劇場「トスカ」

東京文化会館チケットサービスのご案内

1日(金) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.75 主催公演

19:00 浮ヶ谷順子フルートリサイタル

2日(土) 15:00 Music Weeks in TOKYO 2013 小曾根真ワークショップ「自分で見つける音楽」

3日(日・祝) 10:30 Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム

4日(月・休) 14:00 東京音楽コンクール入賞者リサイタル 井上静香ヴァイオリンリサイタル

7日(木) 19:00 Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ第3回 堤剛&ルドルフ・ブッフビンダー 主催公演

8日(金) 19:00 安永徹・市野あゆみ デュオ・コンサート

9日(土) 18:00 イェルク・デーモス ピアノリサイタル 楽壇デビュー70周年記念

10日(日) 14:00 Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ第4回 堤剛&ルドルフ・ブッフビンダー 主催公演

11日(月) 19:00 佐藤久成ヴァイオリンリサイタル

12日(火) 19:00 今川映美子 シューベルトヴァイオリン・アデーテvol.11

13日(水) 19:00 古部賢一 オーボエ・リサイタル

14日(木) 19:00 岡田博美ピアノリサイタル2013

15日(金) 19:00 ミュージック・イン・スタイル 岩崎淑シリーズvol.37

16日(土) 14:00 カルテット・エクセルシオ第26回定期演奏会

19:00 アカサスIIコンサート

17日(日) 15:00 日本テレマン協会創立50周年記念 第215回定期演奏会

18日(月) 19:00 第29回齋藤行クラリネットリサイタル

19日(火) 19:00 平尾貴四男 歿後60周年記念コンサート

20日(水) 19:00 宮沢明子ピアノリサイタル

21日(木) 19:00 中西哲人チェロリサイタル

24日(日) 14:00 東京文化会館オペラBOX「カルメン」 主催公演

25日(月) 18:45 日本モーツァルト協会第553回例会「ふたりのモーツァルト」

26日(火) 16:40 平成25年度文部科学大臣賞 友愛創立60周年記念 第24回 友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール

27日(水) 19:00 中村静香ヴァイオリン&ヴィオラ リサイタル

28日(木) 13:00 アルカン生誕200年記念ピアノコンサート

29日(金) 19:00 エリック・ハイドシェック ピアノリサイタル2013

30日(土) 14:00 小林武史ヴァイオリンリサイタル

●掲載情報は2013年8月10日現在のものです。●主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

特集 出演者インタビュー 東京文化会館主催公演のご案内 木之下晃のレンズは語る 公演情報(10/12月) 音楽資料室より 都響ニュース 会館からのお知らせ

**トリノ王立歌劇場「仮面舞踏会」**

出演 アメーリア：オクサナ・ディカ  
リッカルド：ラモン・ヴァルガス  
レナート：  
ガブリエーレ・ヴィヴィアーニ  
ジャンナ・ノセダ (指揮)



トリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団 ©Teatro Regio Torino

演出 ロレンツォ・マリアーニ

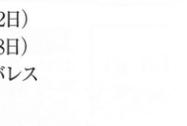
料金 S43,000 A38,000 B33,000 C28,000 D23,000  
E16,000 F11,000

問合せ ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

**トリノ王立歌劇場「トスカ」**

出演 トスカ：ノルマ・ファンティーニ (2日)  
パトリシア・ラセット (5日・8日)

カヴァラドッシ：マルセロ・アルバレス  
スカルピア：ラド・アタネリ  
ジャンナ・ノセダ (指揮)



トリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団

演出 ジャンルイ・グリンダ

料金 S43,000 A38,000 B33,000 C28,000 D23,000  
E16,000 F11,000

問合せ ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

**都民劇場音楽サークル第614回定期公演  
トリノ王立歌劇場 特別演奏会**

出演 ジャンナ・ノセダ (指揮) バルバラ・フリットリ (S)  
ダニエラ・バルチェッローナ (Ms) ピエロ・プレッティ (T)  
ミルコ・パラッツィ (Bs)



トリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団

曲目 ロッシーニ：スターバト・マター 他

料金 S18,000 A15,000 B12,000 C10,000

問合せ 都民劇場 03-3572-4311

**関孝弘ピアノリサイタル 2013**

曲目 ヴェッキアート：夜のヴェローナ 他

料金 指定5,500

問合せ 東京労音 03-3204-9933

**田尻明規とモーツァルト・レクイエムを歌う会のコンサート**

出演 田尻明規 (指揮) アキミタジリシンフォニーオーケストラ  
増田のり子 (S) 小泉詠子 (Ms) 土崎護 (T)  
佐野正一 (Br) 木村裕平 (Pf) 他



曲目 千原英喜：ある真夜中に  
モーツァルト：レクイエム

料金 自由2,000

問合せ 上野混声合唱団 (吉川) 03-3875-2240

**東京バレエ団「ザ・カプキ」**

出演 由良之助：柄本弾 (14日) 森川菜央 (15日)  
顔世御前：二階堂由依 (14日) 渡辺理恵 (15日)

振付 モーリス・ベジャール



料金 S10,000 A8,000 B6,000  
C4,000 D3,000 E2,000

問合せ NBSチケットセンター  
03-3791-8888

**スヴァンホルム シンガーズ**

曲目 スウェーデン民謡：リム・リム・リーマ 他

料金 S5,300 A4,800 B4,300 C3,800

問合せ MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999

**東京都交響楽団 第762回定期演奏会**

出演 エリアフ・フィンバル (指揮) 庄司紗矢香 (Vn)  
イルディコ・コムロシ (S) マルクス・アイヒェ (Br)

曲目 バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番  
：歌劇「青ひげ公の城」(字幕付き)

料金 S9,500 A8,500 B7,500 C6,000 Ex3,000

問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

**第63回 メサイア演奏会**

出演 高関健 (指揮) 藝大フィルハーモニア  
東京藝術大学音楽学部声楽科学生及び大学院音楽研究科生

曲目 ヘンデル：オラトリオ「メサイア」(救世主)

料金 S4,000 A3,500 B2,500 C1,500

問合せ 朝日新聞厚生文化事業団 03-5540-7446

**〈第120回〉2013 第九演奏会**

出演 現田茂夫 (指揮) 東京ニューシティ管弦楽団  
西本真子 (S) 柚友恵子 (A)  
田中豊輝 (T) 上田誠司 (Br)

東京労音第九合唱団

料金 S6,500 A5,500 B4,500 C4,000

問合せ 東京労音 03-3204-9933

**亀淵友香&VOJA ~Christmas Gospel Night 2013~**

曲目 ハレルヤ 他

料金 S5,000 A4,000

問合せ 東京労音 03-3204-9933

**都民交響楽団 2013年特別演奏会**

出演 松尾葉子 (指揮)

曲目 ビゼー：アルルの女 第1組曲、第2組曲  
ラヴェル：ラ・ヴァルス 他



料金 S2,000 A1,000

問合せ 都民交響楽団 (根岸) 080-3247-2869

**都響スペシャル「第九」**

出演 エリアフ・フィンバル (指揮) 二期会合唱団  
澤畑恵美 (S) 竹本節子 (Ms)  
福井敬 (T) 福島明也 (Br)



料金 S9,000 A8,000 B7,000 C5,500 Ex2,800

問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

**キエフ・バレエ「パヤデルカ」(日本初演)**

出演 オレクシイ・バクラン (指揮) 他  
ウクライナ国立歌劇場管弦楽団



振付 M.プティパ

料金 S13,000 A11,000 B9,000  
C7,000 D5,000

問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

**東京シティ・フィル 第九特別演奏会**

出演 宮本文昭 (指揮) 東京シティ・フィル・コア  
醍醐園佳 (S) 加納悦子 (Ms)  
宮里直樹 (T) 河野克典 (Br)

料金 S8,000 A6,000 B4,000 C3,000

問合せ 東京シティ・フィル・チケットサービス 03-5624-4002

**ベートーヴェンは凄い!「全交響曲連続演奏会」2013**

出演 小林研一郎 (指揮)  
岩城宏之メモリアル・オーケストラ 武蔵野合唱団  
森麻季 (S) 山下牧子 (A)  
錦織健 (T) 青戸知 (Br)

料金 S20,000 A15,000 B10,000 C5,000 D2,000

問合せ メイ・コーボレーション 03-3584-1951

**1日(日) 14:00 近藤洋子ピアノリサイタル**

曲目 シューマン：謝肉祭 他

料金 自由5,000 ☎新演奏家協会 03-3561-5012

**2日(月) 18:30 日本合唱協会 第189回定期演奏会「二つのレクイエム」**

出演 久住祐実男 (指揮) 海老澤敏 (お話) 新田境子 (Pf) 日本合唱協会

曲目 シューベルト：レクイエム 他

料金 指定4,000(当日4,400) 自由3,500(当日3,800)  
65歳以上2,500※ 学生券1,000※ ペア7,500※ ※前売りのみ

☎日唱 03-3791-4088

**3日(火) 19:00 尾高惇忠作品展~ピアノの響きと共に~**

出演 尾高惇忠 (Pf) 尾高綾子 (Ms) 野田清隆 (Pf) 丹羽悦子 (Pf) 他

曲目 尾高惇忠：ピアノソナタ 他

料金 自由4,000 ☎ソナー・アートオフィス 03-5754-3102

**4日(水) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.76 主催公演**

出演 氏家亮 (Hr) 室伏琴音 (Pf)

曲目 ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ 他

料金 自由500 ☎東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

**5日(木) 19:00 福間光太郎ピアノリサイタル2013**

曲目 ブラームス：ピアノソナタ第3番 他

料金 自由4,000 ☎東京企画 03-3944-1581

**6日(金) 19:00 家喜美子チェンバロリサイタル**

曲目 J.S.バッハ：パルティータ第3番 他

料金 自由4,000 学生3,000

☎ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

**7日(土) 12:00 15:00 普天間かおりLIVE2013**

出演 普天間かおり (Vo)

曲目 守りたいもの 他

料金 指定4,000(当日4,500) ☎東京労音 03-3204-9933

**8日(日) 14:00 ふれあいトリオ ~吉田恭子と仲間たち~**

出演 吉田恭子 (Vn) 林一公 (Vc) 白石光隆 (Pf)

曲目 ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第7番「大公」より 第1楽章 他

料金 障がいをお持ちの方の為の招待公演 (事前申込制)

☎Kトレーディング 03-6418-1008

**9日(月) 19:00 山崎小桃ソプラノリサイタル**

出演 山崎小桃 (S) 佐藤光政 (Br) 小島さやか (Pf)

曲目 ブッチェーニ：歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」 他

料金 自由4,500 シルバー3,000 学生3,000

☎プロスベリティー 03-3908-8604

**10日(火) 14:00 都響メンバーによる室内楽トークコンサートvol.17「調理場のレビュー」**

出演 東京都交響楽団メンバー、三船優子 (Pf)

曲目 マルティヌ：調理場のレビュー 他

料金 S4,000 A3,000 ☎都響ガイド 03-3822-0727

**11日(水) 19:00 ヴァイオリン、チェロ、メゾソプラノ リサイタル**

出演 桂朋子 (Vn) キョーム・グロバール (Vc) ヴィルビライサネン (Ms)

曲目 未定

料金 自由3,000 ☎ソナー・アートオフィス 03-5754-3102

**12日(木) 19:00 アトリウム弦楽四重奏団 チェイコフスキー弦楽四重奏曲 全曲演奏会**

曲目 チェイコフスキー：弦楽四重奏曲 第1~3番

料金 指定4,000 U25(25歳以下)2,000

☎テレビマンユニオン 03-6418-8617

**13日(金) 19:00 アンサンブル・ロココ第27回クリスマスロックコンサート**

出演 小畑善昭 (Ob) 新谷要一 (Fl) 菊地知也 (Vc) 新谷久子 (Cem)

曲目 J.S.バッハ：トリオンソナタ短調 他

料金 自由3,500(当日4,000) 学生2,000

☎ルイムジーク 044-865-2702

**14日(土) 18:30 チェコ少年合唱団「ボニ・ブレリ」クリスマスコンサート2013**

曲目 カッチーニ：アヴェ・マリア 他

料金 指定5,000

☎チケットスペース 03-3234-9999

**15日(日) 19:00 東京シンフォニエッタ第34回定期演奏会「固定・展開」**

出演 板倉康明 (指揮, Cl) 有馬純晴 (音響) 東京シンフォニエッタ

曲目 エリオット・カーター：クラリネット協奏曲 他

料金 自由4,000 学生3,000

☎東京シンフォニエッタ 03-3226-9755

**13日(金) 19:00 東京混声合唱団 第232回定期演奏会**

出演 松井慶太 (指揮) 東京混声合唱団

曲目 酒井健治：私は他人であるII 他

料金 自由4,000 学生2,000

☎合唱音楽振興会 03-3226-9755

**14日(土) 14:00 岩田真奈メゾソプラノリサイタル**

出演 岩田真奈 (Ms) 藤川志保 (Pf)

曲目 シューマン：「女の愛と生涯」 他

料金 自由2,500

☎日本演奏連盟 03-3539-5131

**15日(日) 14:00 室井摩耶子トークコンサート~音楽を聴きたいって何なの?第25話**

出演 室井摩耶子 (Pf)

曲目 ベートーヴェン：ピアノソナタ第21番「ワルトシュタイン」 他

料金 自由5,000

☎ゼール音楽事務所 03-3995-5221/zele@iris.ocn.ne.jp

**18日(水) 19:00 大萩康司ギターリサイタル**

曲目 ウィリアム・ウォルトン：5つのパガテル 他

料金 指定4,000 ☎東京音協 03-5774-3030

**19日(木) 18:45 日本モーツァルト協会第554回例会「親愛なる友ハイドンへ」**

出演 古典四重奏団

曲目 モーツァルト：弦楽四重奏曲「ハイドン四重奏曲第4番」(狩) 他

料金 自由4,500 学生2,000

☎日本モーツァルト協会 03-5467-0626

**20日(金) 19:00 新納洋介ピアノリサイタル**

曲目 ベートーヴェン：ピアノソナタ第29番「ハンマークラヴィア」 他

料金 自由3,500 学生2,000 ☎ハーモニイ 03-3357-3306

**21日(土) 14:00 和波孝禧 クリスマスバッハシリーズXXI**

出演 和波孝禧 (Vn) 武久源造 (Cem)

曲目 バッハ：ヴァイオリンとチェンバロの為のソナタ 第1~3番 他

料金 指定5,000 ☎AMATI 03-3560-3010

**22日(日) 19:00 ガンマプラスアンサンブル第26回定期演奏会**

曲目 バルトーク：デヴィェルティメント 他

料金 自由500

☎ガンマプラスアンサンブル (和氣) 029-856-0706

**22日(日) 14:00 小林道夫ゴルトベルク変奏曲演奏会**

出演 小林道夫 (Cem)

曲目 J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988 他

料金 指定3,000 ☎ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

**23日(月・祝) 14:00 東京音楽コンクール入賞者リサイタル 石井楓子ピアノリサイタル**

曲目 ラヴェル：夜のガスパール 他

料金 自由2,500

☎石井楓子リサイタル実行委員会 03-5302-2914

**24日(火) 19:00 石井啓子アンサンブルシリーズXXV**

出演 石井啓子 (Pf) 石井啓一郎 (Vn) 石突美奈 (Vn)  
後藤悠仁 (Va) 伊堂寺聡 (Vc) 他

曲目 林光：ピアノ五重奏曲「ラッキードラゴン・クインテット」 他

料金 自由4,000 ☎プロアルテムジク 03-3943-6677

**25日(水) 19:00 外園祥一郎&次田心平リサイタル**

出演 外園祥一郎 (Eu) 次田心平 (Tu) 前田憲男 (Pf)  
金井信 (Pf) 加羽沢美濃 (MC)

曲目 アンドレ・ギャニオン：めぐり逢い 他

料金 未定 ☎テンポプリモ 03-5810-7772

**26日(木) 18:30 藝大ピアノ・デュオ・プロジェクトvol.2 ~東京藝大ピアノ科若手教員陣の響演~**

出演 草冬香&佐野隆哉 有吉亮治&菅野雅紀  
新納洋介&白石光隆 他

曲目 ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 作品56b 他

料金 自由3,000 学生2,500

☎カワイ音楽振興会 03-5485-8511

**27日(金) 19:00 岸七美子ソプラノリサイタル**

出演 岸七美子 (S) 原田勇雅 (Br) 井上博文 (指揮) 木戸俊輔 (Pf)

曲目 レオンカヴァッロ：歌劇「道化師」より「空を晴れやかに」 他

料金 自由4,000 ☎ミュージズの庭企画 048-663-2733

**31日(火) 14:00 ベートーヴェン弦楽四重奏曲「9曲」演奏会**

出演 古典四重奏団 ルートヴィヒ弦楽四重奏団 カルテット・エクセルシオ

曲目 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲「ラズモフスキー1~3番」 他

料金 指定8,000 ☎ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

特集 出演者インタビュー  
東京文化会館主催公演のご案内  
木之下晃のレンズは語る  
公演情報 10・12月  
音楽資料室より  
都響ニュース  
会館からのお知らせ

# 音楽資料室より

10~12月に開催される公演から、今回は録音資料7点、映像資料2点をご紹介します。

## Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ 第2回 ブルーノ=レオナルド・ゲルバー ベートーヴェンへのオマージュ

「奇跡的な音響」と称される小ホールで行われる全6回のコンサート・シリーズ。  
第2回にはベートーヴェンプログラムが高く評価されているブルーノ=レオナルド・ゲルバーが登場。  
当日の演奏曲目を収録した録音資料をご紹介します。

### 1 ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第23番 へ短調 op.57「熱情」

CD 請求記号 1J5.38  
演奏：ブルーノ=レオナルド・ゲルバー(ピアノ)  
発売：日本コロムビア 発売番号：33CO-3006

## Music Weeks in TOKYO 2013 まちなかコンサート まちなかスペシャルvol.2 ~Navigatorコバケンのクラシック入門~

東京文化会館音楽監督、炎のマエストロ=コバケン(小林研一郎)がナビゲーターを務めるコンサート。  
東京音楽コンクール入賞者を中心とした新進気鋭のアーティスト達が名曲の数々を披露します。  
当日の演奏曲目を収録した録音資料をご紹介します。

### 2 シューベルト/ピアノ五重奏曲「ます」より 第4楽章

CD 請求記号 3G2.35  
演奏：ジョス・ファン・インマゼール(フォルテピアノ)  
ヴェラ・ベス(ヴァイオリン)  
ユルゲン・クスマウル(ヴィオラ)  
アンナー・ビルスマ(チェロ)  
マージ・ダニロウ(コントラバス)  
発売：ソニー・ミュージックエンタテインメント 発売番号：SRCR-2293

## 東京文化会館オペラBOX ビゼー：カルメン

小ホールの特徴を活かして極上の音響空間でのひとときを堪能できる「オペラBOX」。  
今回予定されている演目を収録した映像資料をご紹介します。

### 3 歌劇「カルメン」(ビゼー作曲)

LD ALD-316~317  
ディレクター：ステイヴン・ピムロット  
出演：マリア・ユーイング(カルメン/メゾ・ソプラノ)  
ジャック・トラッセル(ドン・ホセ/テノール)  
アレイン・フォンダリー(エスカミーリョ/バリトン)ほか  
演奏：ジャック・デラコート(指揮)  
ナショナル・フィルハーモニック・オーケストラ  
アンブロジーアン・オペラ・コーラス  
発売：バンダイビジュアル販売 発売番号：BML-8

## 大ホールの公演から

10月に行われる東京バレエ団のプログラムより「ジゼル」の映像資料をご紹介します。  
また、11月に来日するロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団による演奏会、12月に来日するトリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団による特別演奏会での演奏曲目を収録した録音資料をご紹介します。

### 4 10/12-14 東京バレエ団「ジゼル」 バレエ「ジゼル」(音楽:A.アダン)

DVD 請求記号 DVD-1401  
改訂振付：ウラジーミル・ワシーリエフ  
出演：上野水香(ジゼル)  
フリーデマン・フォーゲル(アルブレヒト)  
後藤晴雄(ヒラリオン)ほか  
東京バレエ団  
演奏：井田勝大(指揮)  
東京ニューシティ管弦楽団  
発売：新書館 発売番号：DD09-1213

### 5 11/18 ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 ストラヴィンスキー/バレエ「火の鳥」組曲(1919年版)

CD 請求記号 1C9.16  
演奏：カルロ・マリア・ジュリーニ(指揮)  
ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団  
発売：Sony Classical 発売番号：CSCR-8289

### 6 12/6 都民劇場音楽サークル第614回定期公演 トリノ王立歌劇場 特別演奏会 ロッシェニ/スターバト・マーテル

CD 請求記号 3N2.63  
演奏：バルバラ・フリットリ(ソプラノ)  
ソニア・ガナツシ(メゾ・ソプラノ)  
ジュゼッペ・サツパティエーニ(テノール)ほか  
リッカルド・シャイー(指揮)  
ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団  
発売：Decca Music Group 発売番号：UCCD-1093

## 小ホールの公演から

小ホールで行われるコンサートの中から、次の3点をご紹介します。

### 7 10/7 萩原貴子フルートリサイタル with チェコ・フィルハーモニー弦楽四重奏団 モーツァルト(ミハエル・ヤッペ編曲)/ トルコ行進曲付きピアノソナタ(フルート四重奏版)

CD 請求記号 3G6.79  
演奏：萩原貴子(フルート)  
ザルツブルク・モーツァルテウム弦楽四重奏団  
発売：日本コロムビア 発売番号：COCQ-83567

### 8 11/9 イェルク・デームスピアノリサイタル 楽壇デビュー70周年記念 シューマン/幻想曲 八長調 op.17

LP 請求記号 J41.2  
演奏：イェルク・デームス(ピアノ)  
発売：キングレコード 発売番号：SH-5256

### 9 12/27 ~ピアノと弦楽の調べにのせて~ 岸七美子ソプラノリサイタル レオンカヴァッロ/歌劇「道化師」より“大空を晴れやかに”

CD 請求記号 1L9.59  
演奏：キリ・テ・カナワ(ソプラノ)  
チョン・ミュンフン(指揮)  
ロンドン交響楽団  
発売：東芝EMI 発売番号：TOCE-6854

\*当資料室は、この他にもさまざまな資料を所蔵しております。  
是非ご利用ください。

**資料室のご案内** 東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。  
初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております(日曜・祝日を除く開室日の火曜~土曜 9~17時)。インターネットでも所蔵資料を検索することができます。  
TEL: **03-3828-2111** (代表)  
URL: <http://t-bunka.opac.jp/index.html>  
コピーサービスを除き、料金は必要ありません。

**開室時間** 火曜~土曜 13時~20時(コピー受付 18時30分まで)  
日曜・祝日 13時~17時(コピー受付 16時まで)

**休室日** ・毎週月曜  
\*9月16・23日、10月14日、12月23日は祝日、11月4日は振替休日ですが、月曜のため休室となります。  
・保守日等(9月24・25日、10月22・23日、11月5・6日、12月17日)  
・年末年始(12月28日~1月3日)

\*詳しくは、ホームページのカレンダーや電話等でご確認ください。  
URL: <http://www.t-bunka.jp/library/index.html>

# 都響ニュース Vol.29

東京文化会館から上質の音楽を発信!

## 後期シーズン一回券 新発売情報!!

音脈読者のみなさま、いかがお過ごしでしょうか?  
東京都交響楽団は2013年度後期もバラエティに富んだ公演をお届けいたします。  
個性溢れるソリスト出演の定期演奏会Aシリーズ、12月はインバル指揮のバルトーク三昧! 庄司紗矢香のヴァイオリン協奏曲と併せて、

歌劇《青ひげ公の城》全曲をご堪能ください。年末の都響スペシャルでは、巨匠エリアフ・インバル極めつけのベートーヴェン第九の演奏も乞うご期待!!  
都響の名手たちによる毎回好評の室内楽トークコンサートもお楽しみください。

## 定期演奏会Aシリーズ

各回19時開演 東京文化会館

### 第762回 12月19日(木) 一回券 9月6日(金)発売

指揮/エリアフ・インバル  
ヴァイオリン/庄司紗矢香  
ソプラノ/イルディコ・コムロシ  
バリトン/マルクス・アイヒェ

バルトーク: ヴァイオリン協奏曲第2番  
バルトーク: 歌劇「青ひげ公の城」  
(演奏会形式・原語上演・日本語字幕)



エリアフ・インバル ©堀田力丸  
庄司紗矢香 ©Julien Mignot  
イルディコ・コムロシ  
マルクス・アイヒェ

### 第765回 2014年1月23日(木) 一回券 9月6日(金)発売

指揮/梅田俊明 ヴィオラ/川本嘉子  
打楽器/安江佐和子

《日本管弦楽の名曲とその源流-18》  
(プロデュース: 一柳慧)  
安良岡章夫: レイディアント・ポイントII (2006年版)  
安良岡章夫: ヴィオラとオーケストラのためのポリフォニア  
シェーンベルク: 5つの管弦楽曲(改訂版)



梅田俊明 ©三浦興一  
川本嘉子  
安江佐和子

### 第767回 2014年3月24日(月) 一回券10月26日(土)発売

指揮/小泉和裕  
ベートーヴェン: 交響曲第1番  
ブルックナー: 交響曲第1番(リント稿)

TICKET	S席	A席	B席	C席	Ex席
一回券	9,500	8,500	7,500	6,000	3,000
第762回	9,500	8,500	7,500	6,000	3,000
第765回	6,500	5,500	4,500	3,500	1,800
第767回	6,500	5,500	4,500	3,500	1,800

・シルバーエイジ(65歳以上): A~C席30%OFF ・ジュニア(18歳未満)/学生: A~C席50%OFF

## 都響スペシャル「第九」 現代の巨匠インバルの第九

19時開演 東京文化会館

### 12月24日(火) 9月6日(金)発売

指揮/エリアフ・インバル ソプラノ/澤畑恵美  
メゾソプラノ/竹本節子 テノール/福井敬  
バリトン/福島明也 合唱/二期会合唱団

ベートーヴェン: 「エグモント」序曲  
ベートーヴェン: 交響曲第9番「合唱付」

S¥9,000 A¥8,000 B¥7,000 C¥5,500 Ex¥2,800  
・シルバーエイジ(65歳以上): S~C席30%OFF ・ジュニア(18歳未満)/学生: S~C席50%OFF

「第九12/24」&「ニューイヤーコンサート(1/3)」セット券  
S席9,000円→7,200円 A席8,000円→6,400円 B席7,000円→5,600円 C席5,500円→4,400円 Ex席(セット券対象外)  
\*ニューイヤーコンサートの詳細は6ページをご覧ください。

\*セット券は都響ガイドと東京文化会館チケットサービスで取扱い(どちらも窓口・電話のみ)。

## ご予約とお問合せ

【都響ガイド】03-3822-0727 <http://www.tmsa.or.jp> **都響WEBチケット** インターネットで座席を選んで購入できます  
東京文化会館1階 正面入口すぐ左側 月~金 10時~18時/土日祝休み  
\*主催演奏会開催日は休業または営業時間が変更になります。発売日の10/26(土)は10時~17時の営業(来団不可)

# 東京都交響楽団

プリンシパル・コンダクター: エリアフ・インバル  
レジデント・コンダクター: 小泉和裕  
プリンシパル・ゲスト・コンダクター: ヤクブ・フルシヤ

# 会館からのお知らせ

東京文化会館 友の会  
**Club Wa-Wa**  
のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援して下さる舞台芸術ファンのためのクラブ、Club Wa-Wa(わあーわ)。  
Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味します。  
東京文化会館は、昭和36(1961)年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として半世紀にわたる歴史を刻んできました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、Club Wa-Waの皆様へ支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと思います。願っております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。



## 会員プラン

①ベーシックプラン 年会費 ¥2,100

メルマガ、ホームページを活用してよりスピーディーに情報をお届けするプラン。

②クラシックプラン 年会費 ¥2,625

毎月1回、会報誌 Letter Wa-Waをご郵送するプランです。

申込プラン	入会金	年会費	メールマガジン	会報誌の郵送	チケットオンライン購入
友の会 ベーシックプラン	無料	2,100円	●	●	●
友の会 クラシックプラン	無料	2,625円	*	●	●
メールマガジン		無料	●		

\*別途メールマガジンにご登録いただけます。

### ■ご入会について

チケットサービスあるいはホームページにてお手続きいただくか、友の会事務局まで入会申込書をご請求ください。

### ■お問合せ・チケットお申込み

お問合せ 東京文化会館友の会 Club Wa-Wa 事務局  
電話：03-3828-1696(平日9:00～17:00、土日祝休み)  
お申込み 東京文化会館チケットサービス  
電話：03-5685-0650(休館日を除く10:00～19:00)

## 特典 (ベーシックプラン、クラシックプラン共通)

- ①当館指定公演の**チケット割引販売**
  - ②当館指定公演の**チケット先行販売**
  - ③当館指定公演に抽選で**会員の方をご招待**
  - ④館内の**レストラン・ギフトショップで5%割引(一部対象外)**
  - ⑤会館広報誌「**音脈・公演情報**」を年4回、**ご自宅へ郵送**
  - ⑥**ヤマハ銀座店で5%割引(一部対象外)**
  - ⑦(公財)東京都歴史文化財団の運営する施設の**入館料等の割引(割引率は施設により異なります)**
  - ⑧**アトレ上野の対象店舗での各種サービス**  
詳しくはリーフレット「アトレ上野 de お得がいっぱい!」もしくはアトレホームページ<http://www.atre.co.jp/>をご覧ください。
  - ⑨**エキュート上野の対象店舗での各種サービス**  
詳しくはリーフレット「エキュート上野 チケ得」もしくはエキュート上野ホームページ<http://www.ecute.jp/ueno/>をご覧ください。
- 最新の友の会特典情報(先行発売・割引情報・公演ご招待等)は、東京文化会館ホームページからご覧いただけます。



東京文化会館公式ツイッター始めました。▶ [http://twitter.com/tbunka\\_official/](http://twitter.com/tbunka_official/)

ぜひご覧ください!

### カフェ

## café HIBIKI

秋の風を感じながら  
気軽に楽しめる  
オープンカフェゾーンです



写真左より

肉パンダまん・あんパンダまん 各¥250  
パンダのパンケーキ ¥280

\*価格には消費税が含まれております

営業時間/11:00～19:00(ラストオーダー18:30)

営業時間等変更の可能性がございますので、  
下記へお問合せください。

TEL 03-3821-9151

(レストランフォレストイーユ 精養軒)

東京文化会館1階：入口は国立西洋美術館側

### ギフトショップ&チケットサービス

## 東京文化会館ギフトショップ

TEL 03-3828-2223 FAX 03-3828-2224

音楽やバレエをテーマにしたグッズを幅広く取り揃えて  
皆様のご利用をお待ちしております。  
ギフトラッピングもお気軽にお申し付けくださいませ。



ブックマーカー 各651円(税込)

## 東京文化会館チケットサービス

TEL 03-5685-0650

東京文化会館1階正面口入って左

### フラワーショップ

## CADEAUX

フラワーショップ  
カード

花束・アレンジメント・スタンド花・楽屋花の  
ご注文を承ります。



贈り物(CADEAUX)の玉手箱  
エントランスロビーの一角で  
色とりどりの季節の花がお出迎え。

TEL&FAX 03-3828-8741

東京文化会館1階正面口入って右

# Restaurant Forestier

レストラン フォレストイーユ 精養軒



## Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



左野精養軒

TEL 03-3821-9151

(東京文化会館 2階)

<http://www.seiyoken.co.jp>